

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	OECD/GSF分担金		<b>担当部局庁</b>	科学技術・学術政策局		<b>作成責任者</b>	国際交流官 石田 徹		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度		<b>担当課室</b>	国際交流官付					
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	VII-4. 科学技術の国際活動の戦略的推進					
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	第4期科学技術基本計画					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	国際的な知的公共財の創出や地球規模課題の解決に資する科学技術協力を国際機関への拠出を通じて行い、我が国の科学技術の戦略的推進を図る「国際機関への拠出等」のうち、「OECD/GSF分担金」は、経済協力開発機構(OECD)/グローバル・サイエンス・フォーラム(GSF)会合において、我が国から提案した「地球規模課題に関する先進国と途上国との科学技術協力に関する調査活動」をはじめ、各国から提案のあった「宇宙粒子物理学に関するワーキング・グループ」、「科学コレクションに関するワーキング・グループ」等の活動に参画・寄与することにより、当該分野における包括的な知見の獲得等を目指す。								
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	特定の科学分野における新しい国際協力機会の模索や、国内及び域内の重要な科学政策決定に活用可能な国際的な枠組の構築、地球規模の問題に対する科学的側面からの検討など、OECD/GSF会合の活動を推進するための経費を分担する。これまでの国際的な枠組の構築の一例として、GSFの議論を踏まえて創設された地球規模生物多様性情報機構(GBIF)が挙げられる。GBIFは生物多様性に関するデータを収集し、全世界的に利用することを目的に創設された科学プロジェクトであり、世界各国の研究者が関与する重要なものとなっている。このような意義のあるプロジェクトの創設につながる議論を行う場として、GSFは重要な役割を果たしている。								
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
	予算の状況	当初予算			10	9	10		
		補正予算			△1	0			
		繰越し等			-	-			
		計			9	9	10		
	執行額				9				
執行率(%)				100.0%					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	本事業は特定の科学分野における新しい国際協力機会の模索や、国内及び域内の重要な科学政策決定に活用可能な国際的な枠組の構築、地球規模の問題に対する科学的側面からの検討などの国際協力機会の拡大及び情報共有を目的としているため、定量的な指標による評価になじまない。		成果実績	—	—	—	—	—	
			達成度	%	—	—	—		
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	OECD内部での調査、情報交換、情報分析の活動実績については、定量的な指標による評価になじまない。 なお、これまでに、OECD/GSF会合では、「国際研究の公正性確保」、「複雑系科学の政策活用事例研究」、「大型研究施設のロードマップ分析」等の議論が行われている。		活動実績 (当初見込み)	人		( )	( )	( )	
<b>単位当たりコスト</b>	-		算出根拠	アウトカム、アウトプットとも定量的な指標がないため算出不可					
平成24・25年度予算内訳	費目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	経済協力開発機構 国際機関分担金		9百万円	10百万円					
	計		9百万円	10百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、OECD/GSFの活動に参画・寄与することにより、包括的な知見の獲得等を目指すニーズの高い事業であり、国が実施すべきである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	当初の目的どおり、OECD/GSFの分担金として使用された。 本事業による分担金に運営経費以外の用途はない。これまで我が国から提案した「地球規模課題に関する先進国と途上国との科学技術協力に関する調査活動」をはじめ、各国から提案のあった「宇宙粒子物理学に関するワーキング・グループ」、「科学コレクションに関するワーキング・グループ」等の活動に参画・寄与した。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	OECD/GSFの年2回の定期会合に我が国の政府職員及び研究者が出席して活発な意見交換を行い、各国の科学技術政策について情報収集を行い、政策立案に活用した。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>【目的・予算の状況】 当事業は、OECD/GSFの活動に参画・寄与することにより、包括的な知見の獲得等を目指す有用な事業である。</p> <p>【資金の流れ、費目・使途】 当初の目的どおり、OECD/GSFの分担金として使用された。</p> <p>【活動実績、成果実績】 年2回の定期会合に我が国の政府職員及び研究者が出席し、活発な意見交換を行った。</p>		
現状通り	<p>1. 事業評価の観点：当該事業は、特定の科学分野における新しい国際協力機会の模索や、国内及び域内の重要な科学政策決定に活用可能な国際的な枠組の構築、地球規模の問題に対する科学的側面からの検討など、OECD/GSF会合の活動を推進するための経費を分担する経費を拠出する事業である。</p> <p>2. 所見：当該事業は、平成25年度についても、引き続き活動実績と費用対効果を検証し、適正な規模で事業を実施すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	<p>分担金の国別負担額は、各国のGNP比率で算出されるもの。GNPが大きく比較的負担額が大きい我が国は、GSFの活動計画策定に積極的に関与する等により、我が国にとっての費用対効果を追求していく。</p>		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0200	平成23年行政事業レビュー	0036

文部科学省  
(9百万円)

経済協力開発機構(OECD)/グローバル・サイエンス・フォーラム(GSF)会合において、我が国から提案した「地球規模課題に関する先進国と途上国との科学技術協力に関する調査活動」をはじめ、各国から提案のあった「宇宙粒子物理学に関するワーキング・グループ」、「科学コレクションに関するワーキング・グループ」等の活動に参画・寄与することにより、当該分野における包括的な知見の獲得等を目指す。



〔拠出〕

【A】 経済協力開発機構(OECD)/  
グローバル・サイエンス・フォーラム(GSF)  
(9百万円)

「地球規模課題に関する先進国と途上国との科学技術協力に関する調査活動」をはじめ、「地震科学と社会への貢献」、「核物理ワーキング・グループ」等の取組みを実施。

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.経済協力開発機構(OECD)/グローバル・サイエンス・フォーラム(GSF)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	OECD/GSF会合の活動を推進するための経費	9			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	経済協力開発機構 (OECD)/グローバル・サイ エンス・フォーラム (GSF)	経済協力開発機構(OECD)/グローバル・サイエンス・フォーラム(G SF)会合の活動を推進するための経費	9	-	-

※拠出金のため、入札者数および落札率は「-」としている。